

埼玉の 暮らしと 社会保障

2024年4月1日発行 第336号

(毎月1回発行)

発行 埼玉県社会保障推進協議会

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-1 2-8 自治労連会館1階

TEL 048-865-0473 FAX 048-865-0483

ホームページは「埼玉社保協」で検索ください

秩父・北部編

地域社保協活動交流会

地域から元気と勇気がもたらされた交流会



今年度の新しい方針として、地域社保協活動交流会が提案されました。その第一弾として、秩父・北部地域で開催しました。日時は3月16日(土)午後2時から午後4時まで、花園公民館で行いました。県社保協からは、柴田会長をはじめ4人。秩父・北部地域からは、秩父2人、深谷2人、美里町1人、本庄1人、寄居町1人全員で11人の参加となりました。(うち共産党の議員2名参加)

柴田会長からは、一昨年の総会の中で、浦和で行う運営委員会には、北部や東部北など遠くて参加が難しいと要望があり、昨年の総会で方針化され、組織拡大と位置づけ、地域社保協運動の発展にむけて提案され、今日の地域社保協活動交流集会在が実現をしたとあいさつがありました。

自己紹介をした後に、国保ミニ学習会を行い、埼玉県の「第3期国保運営方針」についての説明がありました。保険税水準統一を進める政府の二つのねらいを説明しました。①「法定外繰入の解消」は、一般財政からの繰入は予算の無駄遣いとしてやめさせ、その分を政府からの地方交付税を削減していくこと。②保険税統一は「受益と負担の公平性の観点」と言いながら、同時並行で、地域医療提供対策改革を行い、都市部に集中する急性期の病床を削減し、慢性期の医療機関に廻し、そして回復期から在宅看護へ、介護保険へ移行させ「医療費を削減」しようということを計画している。

その後、活動交流に入りました。その中で、秩父民商で作成した「63市町村国保税計算アプリ」の紹介と作成した経緯と苦労された話で盛り上がり、全体がアットホームな雰囲気となりました。次に自治体要請キャラバ

ンの取り組みについて意見交換しました。県社保協が作成する「資料集やアンケートから見えてくるもの」などの資料はキャラバン時の裏付けになるので継続してほしい。(秩父民商) マイナ保険証の学習会を力に、「保険証の存続の意見書」を秩父地域の1市2町に要請した。皆野町は採択されたが、残念ながら小鹿野町、秩父市では不採択だった。残り2つの2町(長瀬町、横瀬町)は6月議会に向けて準備をしていく予定。(秩父社保協) 地域労連として、キャラバンの事前学習会を開催してきた。昨年は民商さんが開いてくれた。当日の市との懇談では、福祉保育労さんに当事者の声を上げてほしいとお願いしている。昨年ヤングケアラーの問題を項目に取り入れてもらい新しい経験になった。(土建深谷) キャラバンは昨年が初めての参加。国保料滞納による差し押さえの数字を初めて見て新鮮に受け止めた。資料集を事前に配布するために、レクチャー(学習会)をしてほしい。(寄居町議) 社保協が地域にないので具体的に動くとなるとキャラバンになる。民商の会員に国保についてのアンケートをとった。国保が高いと感じる人は90%以上、物価高騰の影響をうけている。インボイスの軽減措置も3年と6年、国保も3年後準統一、6年後に完全統一なので、負担が増えるタイミングが同じ、フリーランスと事業主としては税の負担が重くなってくる。見える化の課題として、全国の国保標準保険税率の一覧表を作成した。大阪府の保険税は高いが埼玉県もその後を続けている。(深谷民商)

最後に金澤副会長より、今回ミニ学習会で使用した資料の中に神奈川県自治労連の神田さんの寄稿で「第3期国保運営方針」を解説しているこの文章を読んでもいただければ内容が良くわかります。そして、国保税が高くなっていくことで大変だという声があります。国保こそ最低生活の保障(ナショナルミニマム)が必要とする社会保障です。介護保険問題では、80歳の方が訪問介護のホームヘルパーをしている状態で、まさに人手不足という大変な状況です。政府は、訪問介護報酬を引き下げる計画をしています。これでは「在宅放置」ということが起きる可能性もあります。社会保障の削減ではなく、社会保障拡充が必要です。そして、国保・医療も重要ですが介護、保育、生活保護についても重要です。いろんな情報を集めて一緒に考えて行動をおこしていきましょうと地域社保協活動交流会を締めました。参加者全員が参加して良かった思える有意義な討議となり、新たな地域社保協への結成が、展望できる交流会となりました。

(埼玉社保協 事務局長 段 和志)

「消費税は社会保障に」の学習会を

鴻巣市社会保障をよくする会



3月12日、鴻巣市社会保障をよくする会は、鴻巣市市民活動センターで、「消費税は社会保障費に使われたか」の学習会を大雨の中20名参加で開催しました。講師は、埼玉社会保障推進協議会会長の柴田泰彦さんで、税制の歴史や税の中身と間接税の本質から解説され、「租税は応能負担の原則で社会が成り立っている」と強調されました。そして、政府が進めている社会保障と税の一体化政策で、消費税が導入され「所得再配分」の社会的原則から逸脱してきたことを具体的な事実でお話しされました。

大幅賃上、消費税減税で持続可能な経済社会へ！

国の一般会計での消費税割合が群を抜いて増大になった代わりに、大企業の法人税がその割合の分だけ減っている金額や消費税の増加分より社会保障費の伸びが届いていない本質を読み解いてくださいました。

柴田さんのお話しでは、「失われた30年」を取り戻すためには、大幅な賃上げ・消費税の減税・持続可能な経済社会への変革を求める運動が重要だと助言されました。

トヨタは円安と消費税の還付金で大儲け！

大企業には還付金が！長引くコロナ禍に加え、異常円安による物価高騰で、中小業者は「消費税が払えない」と悲鳴を上げる一方で、トヨタ自動車など輸出大企業は、円安の恩恵を受け、消費税の還付金が増大している実態を明らかにしてくれました。

商売をやっていれば、赤字でも消費税は納めなければなりません。ところが、トヨタ自動車など輸出大企業は消費税導入以来、消費税を納めないばかりか、税務署から巨額の還付金をもらっているのです。

(鴻巣社会保障を良くする会ニュースより転載)

視覚障害者が1人で安心して歩ける駅づくりを

鶴瀬駅東口周辺開発の危険箇所改善速やかに



点字ブロックが撤去されたままの東口スロープ

ここ数年続いている、鶴瀬駅東口周辺の開発は、私たち視覚障害者にとって、工事による歩道や迂回路などの変更で、大変危険で歩きにくい状況が続いています。

今まであった点字ブロックが工事の関係で取り外され、新たな迂回路には点字ブロックが敷設されません。点字ブロックが敷設されないことで、車道内や危険箇所に入ってしまったたり、柱にぶつかり転倒し骨折してしまった視覚障害者もいます。

我慢してでは済まされない

突然できた迂回路や、点字ブロックの撤去や盲導鈴(音による誘導)の停止、新しい歩道の複雑な点字ブロックの敷設は、どの方向に歩いてよいか迷う苦勞の毎日です。

市へ点字ブロックの敷設が必要な箇所や危険箇所を伝えたと、**「工事期間は我慢してほしい」というような回答**でした。近隣の所沢市では、一日でも工事による迂回路などができると、しっかり点字ブロックが敷設されるとも聞いています。なぜ富士見市ではそれができないのでしょうか。市長はこの現実を知っているのでしょうか。知っているのであれば速やかに対応していただきたいです。

市へ改善要望書を提出

このままでは視覚障害者は、単独で安心して歩けないと思い、鶴瀬駅東口を単独で歩く視覚障害者と、その支援をして頂いている晴眼者が集まり、1月28日に駅周辺を点検し、市に対して改善願いの文書を、2月6日に提出し市の関係課と現地を確認しました。

3月中に要望カ所の一部改善があるようですが、まだまだ私たちが安心して歩ける駅周辺にはなりません。危険で難儀な現状の改善に、市長はじめ担当者が速やかに着手するよう強く望みます。

(富士見市社会保障を良くする会ニュースより転載)

社会保障をよくする蕨の会 2024 年度総会

住民とともに社会保障要求を実現していこう！



大雨が降る中で、3月26日(火)午後6時30分から、中央公民館にて、2024年度総会が行われました。参加は8団体23人でした。

冒頭、佐藤会長は、2つの点についてあいさつを行いました。①岸田政権が5年間で43兆円もの大軍拡そして増税を推し進め、物価高騰のもと多くの国民が苦しんでいる。さらに自民党の裏金問題では、国民は確定申告をするのもバカらしくなっている。今こそ、誰もが安心して暮らせる社会をめざし、声を上げ、社会保障の削減を許さず、社会保障の拡充が求められている。②国の悪政から、防波堤として地方自治体の果たす役割は大きい。3月市議会で今年度の予算案がすべて可決された。7万5千人の市民のために、頼高市長はいのちと暮らし、雇用や営業を守るために着実に公約を実行してきた。「あったか市政」のさらなる前進に向けて引き続きがんばっていこうとよびかけました。

来賓として、あいさつをおこなった頼高市長は、5期目の当選を果たせたお礼と、マニフェスト(公約)の実現に向けて、物価高の中、織りなすクーポンの第2弾の実行で市民生活を守ってきたことを報告。そして、3月議会で可決された令和6年度予算の中で、実施予定の施策を一つひとつ丁寧に説明しました。①18歳・高校卒業までの通院、入院の医療費完全無料化の実施。②子ども二人目以降の学校給食費無償化の実施。③ヤングケアラー支援条例の制定。④4年間ですべての学校トイレの洋式化と改修。⑤学校体育館のエアコン設置(残り3校)。⑥帯状疱疹ワクチン接種費用への助成。⑦高齢者の補聴器購入費に助成(4万円を上限)。⑧家庭用防犯カメラに対する補助制度創設など、市民のための施策が盛り込まれています。そして、市立病院の移転建替え方針が議会で承認され、災害時に市民の命を守る拠点としての役割も期待されていることも報告。さらには、市の震災、防災対策にも触れながら能登半島地震に、ボランティアとして蕨市職員を4回にわたって送り出していることを報告。断水が続く中で給水車による給水支援や罹災証明書発行の支援に全力をあげた報告をされました。

県社保協からは、段事務局長が、社会保障情勢とあわせて、国保税が際限なく引き上がっていく第3期国保運

営方針の見直しを求める先頭に引き続き立ちたいと訴えました。

佐藤会長から、1年間の住民要求を基礎とした社会保障拡充の取り組み、会計報告。新年度方針の提案、そして、新年度役員の方針がありました。

討論では、すべての参加団体から活動報告と今後のとりくみについて発言がありました。医療生協からは、蕨の会として8月から「現行の保険証を残してください」の宣伝を毎月取り組んでいることや、介護学習会に80人が参加したこと。新婦人からは、軍事費を削って社会保障に、の運動が今こそ大事になってきている。そしてコンビニに成人誌が復活している。調査し、今後なくす取り組みをしていく。埼玉土建からは、国への納付金の増大で土建国保の財政がきびしい状況や現行の保険証を残す運動の報告。年金者組合からは最低保障年金の創設の取り組み。蕨福祉を考える会からは、障害者の入所施設を10年前から要望しているが進んでいない。近隣の市と共同してでも作ってほしいという切実な願いが出されました。また、孤独死をなくす取り組みが語られました。共産党からは、市立病院の移転、建替えを市民目線で奮闘していく。などの発言がありました。

参加者からの発言も含めて、すべての議案が承認されました。

最後に、佐藤会長から市内7カ所でおこなわれるタウンミーティングに参加をして、頼高市政を支えていこうと訴えて終了となりました。

2024年度役員 会長 佐藤一彦(蕨地区労協) / 副会長 坂田良介(わらび共済組合) / 事務局長 肝付賢司(埼玉土建) / 事務局次長 鈴木 智(日本共産党) / 事務局 井上米明(年金者組合)、及川さよ子(新日本婦人の会)、高松知代子(新日本婦人の会)、鷹巣京子(医療生協)、富澤貞子(生健会)、宮崎洋一(福祉を考える会) / 会計監査 佐藤二一(年金者組合)、勝島 宏(個人)

桶川社会保障を良くする会が総会

3月3日(日)午前10時から桶川公民館で桶川社会保障をよくする会が総会を開催しました。当日の参加者は10人でした。

新年度役員は次の通りです。

会長:佐藤正弘(桶川生健会) / 副会長:星野充生(個人会員) / 事務局長:松下伊吹(埼玉土建中部支部) / 会計:中田美穂(新婦人桶川支部) / 幹事:阿部三恵子(新婦人桶川支部) / 大沢和子(学校給食費の無償化をめざす桶川市民の会) / 柳田二美(医療生協桶川支部) / (年金者組合桶川支部)



「軍事費の拡大よりも、社会保障の拡充を」署名提出行動
「軍事費の拡大よりも社会保障の拡充を」

48人の紹介議員に、168,206筆の署名を提出！

3月25日(月)正午より、中央社保協主催の「軍事費の拡大よりも社会保障の拡充を」署名提出行動を、衆議院第一議員会館で行いました。冒頭、全労連副議長の秋山氏から、国会も終盤に入り、今なによりも「政治とカネ」の裏金問題だ。政治資金だから、使途を明らかにしない、説明責任を果たさないことに国民は怒り心頭。軍事費に大量のお金を使う、アメリカの古い兵器を購入している。こういう政治を変える、これは国民の声ではないか。こうした声を集めた今日の署名をきっかけに予算の使い方、政治の在り方を変えさせる。6月にも解散総選挙がささやかれており、政治を転換させるチャンスです。ともに頑張りましょう。

共産党の宮本徹議員は、世論は政権交代を求めている。政府は国民負担をどんどん増やしてきた。賃金は上がらず、社会保険などの負担率は48%、一方で大企業の法人所得税の負担は下がった。国会では危険な論議がされている子育て支援、医療・介護の公費負担料を減らし、保険料負担を増やす国民生活を顧みない政治が行われている。政治の大本を変えてこそ社会保障の拡充の道がひらける。署名の重みを受け止めて、引き続き奮闘していく決意が語られました。社民党の大椿議員、立憲民主党の石垣議員も駆けつけました。

民医連からは、手遅れ受診についての発言があり、75歳以上の医療費が2割負担になり、医療費が払えないので受診を控えてしまい死亡する事例が全国で2件あった。中央社保協の副代表理事の医師からは、83歳の男性は脳卒中で療養中、一錠440円の薬が高くて払えないという相談があった。肺炎で来院した患者は、お金がないので入院できない。命の問題と説得したが自宅に戻った。今まで、こういう例はほとんどなかった。今の政治を変えないと医療難民が増えていく。

3人の国会議員に、168,206筆の署名を提出し、その後、署名に賛同してくれた48人の紹介議員に要請を行いました。私たちは、衆議院議員の立憲・れいわ・共産党の8人の国会議員に署名を渡してきました。留守のお一人を除いてすべての方が快く受け取りました。

2024年自治体要請キャラバン「コース表」

※3月号ニュース以降コースの変更はありません

日 程	曜	コース	懇談時間	
			①10時～11時30分	②14時～15時30分
7月9日	火	1		さいたま市
		2	久喜市	幸手市
		3	川越市	川島町
7月10日	水	4	松伏町	春日部市
		5	富士見市	ふじみ野市
		6	深谷市	熊谷市
7月11日	木	7	桶川市	北本市
		8	長瀨町	皆野町
		9	毛呂山町	越生町
7月12日	金	10	滑川町	嵐山町
		11	加須市	鴻巣市
		12	杉戸町	宮代町
7月13日	金	13	三郷市	八潮市
		14	日高市	飯能市
		15	上里町	神川町
7月16日	火	16	吉見町	東松山市
		17	坂戸市	鶴ヶ島市
		18	川口市	草加市
7月17日	水	19	寄居町	横瀬町
		20	志木市	新座市
		21	小川町	東秩父村
7月18日	木	22	越谷市	吉川市
		23	入間市	狭山市
		24	上尾市	伊奈町
7月19日	金	25	行田市	羽生市
		26	秩父市	小鹿野町
		27	蓮田市	白岡市
7月19日	金	28	朝霞市	和光市
		29	所沢市	三芳町
		30	ときがわ町	鳩山町
		31	蕨市	戸田市
		32	本庄市	美里町

第51回中央社保学校 from 大阪

日時 8月31日(土) 13:00~17:00
 9月1日(日) 9:00~15:30

会場 大阪民医連会議室・オンライン

テーマ

未来を切り拓く権利としての社会保障(仮)

第1講座 「震災復興と自治体課題」

講師 田中 正人 (追手門学院大学)

特別報告 石川県社保協・自治労連(能登地震分析)

第2講座 「政治と社会保障」

第3講座 「若い人たちとともに考える

社会保障の未来」

いのちと暮らしを守る なんでも相談会

日時：4月27日(土) 受付：10時 18時終了

場所：浦和コミセン 集会室15(浦和駅東口パルコ)

対面・電話どちらでも相談無料・予約不要

※食料や衣料類の無償配布有

電話相談 0120-157-930

法律、生活、労働、難民、移民などで、困っていることはありませんか。相談員：弁護士、司法書士など

主催：なんでも相談会埼玉実行委員会